

「梅田すてんしょ」から、「OSAKA STATION CITY」へ

—都心に眠る「鉄道遺跡」で辿る、梅田の変遷— 2017.3

START 阪急中津駅 → GOAL 阪急旧梅田駅コンコース 約8km

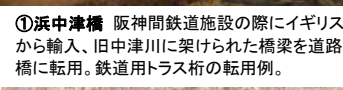


シャンデリア テーブル
元設計：伊東忠太(昭和4年)
阪急百貨店13階

本庄水管橋
明治44年架橋。
橋台は隅石を備えた煉瓦造

旧長柄運河に架かる六つの小橋のひとつ
大正14年10月架橋

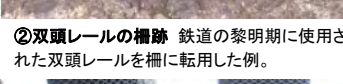
樋口架道橋
明治10年京都-大阪間
開通時の煉瓦造のトンネル



①浜中津橋 阪神間鉄道施設の際にイギリスから輸入、旧中津川に架けられた橋梁を道路橋に転用。鉄道用トラス桁の転用例。



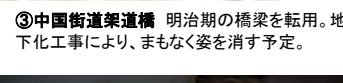
②双頭レールの橋跡 鉄道の黎明期に使用された双頭レールを橋に転用した例。



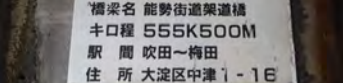
③中国街道架道橋 明治期の橋梁を転用。地下化工事により、まもなく姿を消す予定。



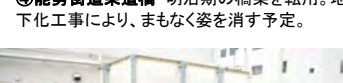
④能勢街道架道橋 明治期の橋梁を転用。地下化工事により、まもなく姿を消す予定。



⑤「この地に梅田駅ありき」の碑 うめきた二期工事が終了した後、しかるべき場所に移設される予定。



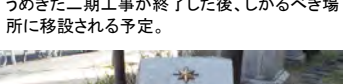
⑥旧制北野中学校跡碑(済生会中津病院) 府立北野中学校、府立梅田高等女学校があった。



⑦「北梅田地下道」昭和3年に貨物ヤード建設の際に、地元からの要望でできた地下道。うめきた1期開業で東部分がなくなり、短くなった。



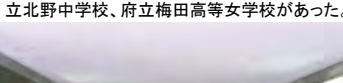
⑧大阪駅旧11番線ホーム跡 北陸方面の発着に利用されていた11番ホームの遺構。今は駐車場との連絡通路として使われている。



⑨清水太右衛門殉職碑 明治40年、踏切内の幼女を助けた殉職した踏切番、清水太右衛門の殉職碑。以前は大阪駅西側の地上にあった。



⑩「埋田」に沈んだ大阪駅の痕跡 昭和9年に高架化された大阪駅は、竣工直後から沈下し、昭和37年に大規模な改修工事が行われた。



⑪地下鉄御堂筋線仮梅田駅跡 昭和8年開業時、梅田駅は仮駅舎で開業した。(旧新阪急ビルディング東側あたり) 「電鉄時代の幕開け」より



⑫当初の大阪駅計画地 大村藩蔵屋敷跡に、当初「頭端式」の駅として計画された。(旧新阪急ビルディング東側あたり) 「電鉄時代の幕開け」より



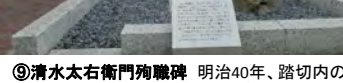
⑬鉄道掛大阪出張所跡(鉄道寮)跡 明治3年 「大阪市の100年」より



⑭梅田墓地跡 大坂七墓のひとつとされた梅田墓地があった。(梅田西一番踏切の北側あたり) 「大阪七墓巡り復活プロジェクト」より 「大阪市の100年」



⑮梅田停車場跡頭影碑(梅三小路) 初代大阪駅は旧大阪中央郵便局の位置にあった。二代目駅舎は東へ200m移動した。 「西梅田開発協議会」より



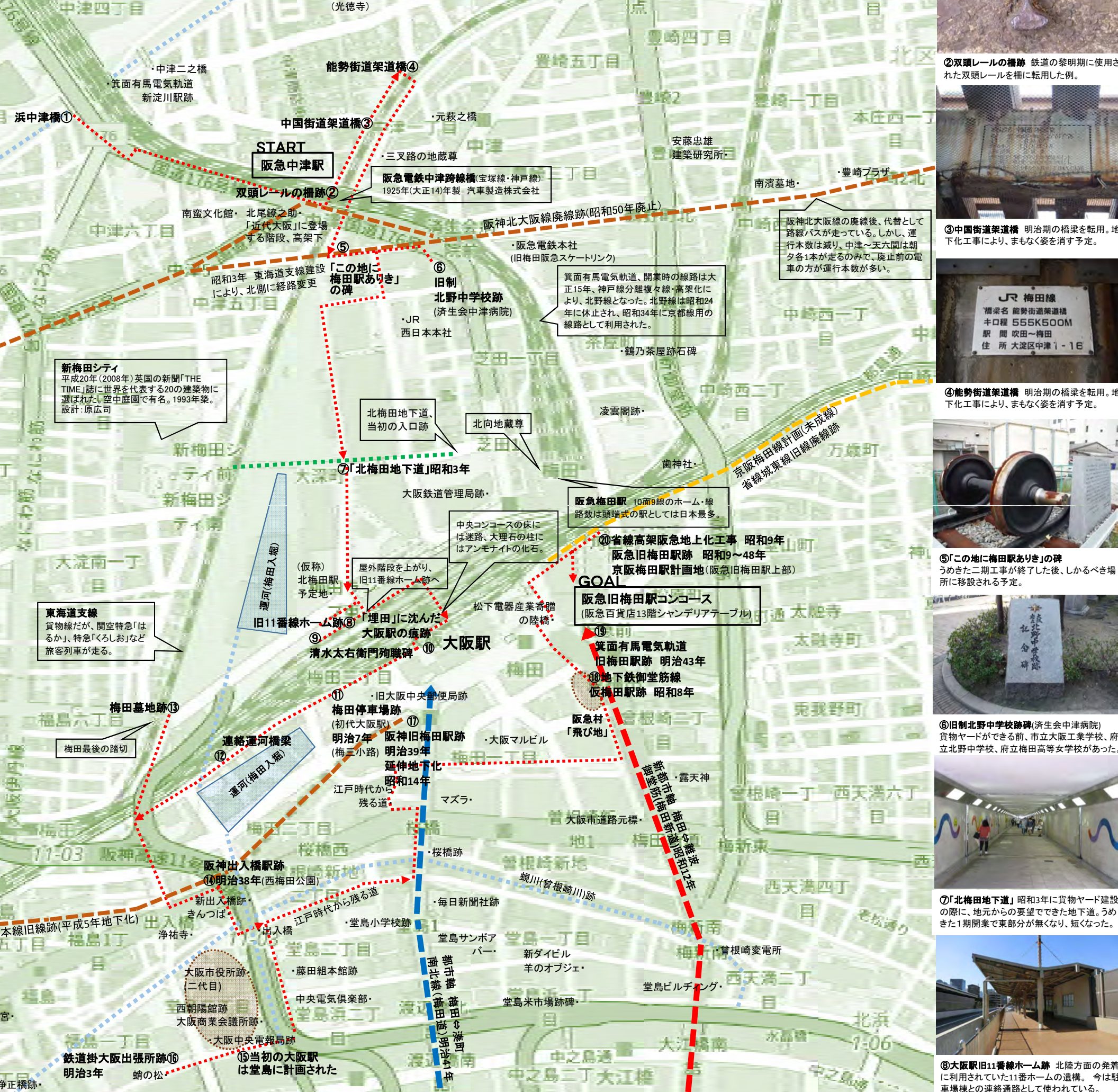
⑯清水太右衛門殉職碑 明治40年、踏切内の幼女を助けた殉職した踏切番、清水太右衛門の殉職碑。以前は大阪駅西側の地上にあった。



⑰省線高架阪急地上化工事 昭和9年に省線東海道本線、城東線が高架となり、それまで高架で省線を乗り越えていた阪急電鉄は地平面化され、5月31日に切り替え工事が行われた。また、この頃、城東線旧線跡の払い下げを受けた京阪が桜ノ宮から梅田に乗り入れる計画があった。昭和48年、阪急梅田駅は国鉄線北側へ転移高架化拡張工事が行われた。



⑱新梅田シティ 平成20年(2008年)英国の新聞「THE TIME」誌に世界を代表する20の建築物に選ばれた。空中庭園で有名。1993年築。設計：原広司



このMAPの問い合わせ
ma@saka.jcom.zaq.ne.jp



⑰省線高架阪急地上化工事 昭和9年に省線東海道本線、城東線が高架となり、それまで高架で省線を乗り越えていた阪急電鉄は地平面化され、5月31日に切り替え工事が行われた。また、この頃、城東線旧線跡の払い下げを受けた京阪が桜ノ宮から梅田に乗り入れる計画があった。昭和48年、阪急梅田駅は国鉄線北側へ転移高架化拡張工事が行われた。



⑪地下鉄御堂筋線仮梅田駅跡 昭和8年開業時、梅田駅は仮駅舎で開業した。(旧新阪急ビルディング東側あたり) 「電鉄時代の幕開け」より



⑫当初の大阪駅計画地 大村藩蔵屋敷跡に、当初「頭端式」の駅として計画された。(旧新阪急ビルディング東側あたり) 「電鉄時代の幕開け」より



⑬鉄道掛大阪出張所跡(鉄道寮)跡 明治3年 「大阪市の100年」より



⑭梅田墓地跡 大坂七墓のひとつとされた梅田墓地があった。(梅田西一番踏切の北側あたり) 「大阪七墓巡り復活プロジェクト」より 「大阪市の100年」



⑮梅田停車場跡頭影碑(梅三小路) 初代大阪駅は旧大阪中央郵便局の位置にあった。二代目駅舎は東へ200m移動した。 「西梅田開発協議会」より



⑱新梅田シティ 平成20年(2008年)英国の新聞「THE TIME」誌に世界を代表する20の建築物に選ばれた。空中庭園で有名。1993年築。設計：原広司



⑰省線高架阪急地上化工事 昭和9年に省線東海道本線、城東線が高架となり、それまで高架で省線を乗り越えていた阪急電鉄は地平面化され、5月31日に切り替え工事が行われた。また、この頃、城東線旧線跡の払い下げを受けた京阪が桜ノ宮から梅田に乗り入れる計画があった。昭和48年、阪急梅田駅は国鉄線北側へ転移高架化拡張工事が行われた。



⑫当初の大阪駅計画地 大村藩蔵屋敷跡に、当初「頭端式」の駅として計画された。(旧新阪急ビルディング東側あたり) 「電鉄時代の幕開け」より



⑬鉄道掛大阪出張所跡(鉄道寮)跡 明治3年 「大阪市の100年」より



⑭梅田墓地跡 大坂七墓のひとつとされた梅田墓地があった。(梅田西一番踏切の北側あたり) 「大阪七墓巡り復活プロジェクト」より 「大阪市の100年」



⑮梅田停車場跡頭影碑(梅三小路) 初代大阪駅は旧大阪中央郵便局の位置にあった。二代目駅舎は東へ200m移動した。 「西梅田開発協議会」より



⑱新梅田シティ 平成20年(2008年)英国の新聞「THE TIME」誌に世界を代表する20の建築物に選ばれた。空中庭園で有名。1993年築。設計：原広司



⑰省線高架阪急地上化工事 昭和9年に省線東海道本線、城東線が高架となり、それまで高架で省線を乗り越えていた阪急電鉄は地平面化され、5月31日に切り替え工事が行われた。また、この頃、城東線旧線跡の払い下げを受けた京阪が桜ノ宮から梅田に乗り入れる計画があった。昭和48年、阪急梅田駅は国鉄線北側へ転移高架化拡張工事が行われた。



⑫当初の大阪駅計画地 大村藩蔵屋敷跡に、当初「頭端式」の駅として計画された。(旧新阪急ビルディング東側あたり) 「電鉄時代の幕開け」より



⑬鉄道掛大阪出張所跡(鉄道寮)跡 明治3年 「大阪市の100年」より



⑭梅田墓地跡 大坂七墓のひとつとされた梅田墓地があった。(梅田西一番踏切の北側あたり) 「大阪七墓巡り復活プロジェクト」より 「大阪市の100年」



⑮梅田停車場跡頭影碑(梅三小路) 初代大阪駅は旧大阪中央郵便局の位置にあった。二代目駅舎は東へ200m移動した。 「西梅田開発協議会」より